

# 関東あまたか

発行者  
山中 麗子  
発行所  
関東あまたか会  
事務局E-mail  
kimicchan135@gmail.com

## 笑顔の対面に感謝

関東あまたか会会長 山中 麗子（高21）



コロナが5年ぶり、やっとなり、やっとなり、昨年「総会・友好の集い」

も4年ぶりの対面で実施することができました。天中の方々が参加がなくなり、少し寂しい気がしましたが、若いメンバーが、楽器の演奏や歌、牛深ハイヤで盛り上げてくれ、大いに元気をもらうことができました。

また、昨年最後の役員会・忘年会をスクワール麴町で実施しましたが、皆さん、顔を見たとたん笑顔となり、今までのブランクを埋めるように、積もる話はやはり対面に限ります。この会では、あつという間に高校時代に戻り天草弁となり、満足していただきました。現在、役員の高齢化は、どの支部も困っていることですが、少しずつ開拓して若返りを図っていきたいと思います。皆さん、関東あまたか会で一緒に役員をやってみませんか？

天草高校でのたった3年間の絆ですが、これからも関東あまたか会は、故郷の天草を大切に、出会いに感謝し、さらなる友好の輪を広げていきたいと思えます。

12月に開催された熊本県アンサンブルコンテスト・九州アンサンブルコンテスト熊本支部予選において、フルート四重奏で金賞を、管打八重奏で銀賞を受賞するなど、様々な部が活躍しています。

国際交流においても、韓国土坪高校との訪問交流を再開し、7月に土坪高校が天草高校を訪問し、10月には本校が土坪高校を訪問し、友好を深めました。この度、土坪高校が作成した天草高校との交流活動をまとめた動画が、外交優秀事例として韓国公共文化外交局から奨励賞を受賞しました。交流相手校としても喜ばしい限りです。さらに、台湾静宜大学とは馬場前校長が交渉を続けてこられた提携協定が正式に締結され、12月にSSH研修で静宜大学を訪問してきました。この協定により、大学の審査を経て入学が許可される本校生徒は5人まで、静宜大学での初年度の学費が免除されます。現在本校卒業生2人が、静宜大学と同じ台湾の逢甲大学に在籍しています。令和の世となり、大学進学も「県内か、県外か」という選択肢から、「県内か、県外か、それも海外か」と、進学の選択肢が一つ増えたと言えます。

## ポストコロナの雛鵬たち

熊本県立天草高等学校校長 中川 正利



関東あまたか会の皆様におかれましては、御清祥のこととお喜び

が一つ増えたと言えます。台湾でもTSMCの熊本進出はよく知られており、多くの関連企業が熊本進出を考えているようです。そのような中、日本語と中国語が話せる人材が求められていると伺いました。時代の変化を感じる台湾訪問でした。

いよいよ3学期を迎え、天高の雛鵬たちは、日々の学校生活で培った団結力や絆で、3年生は進路実現に向け、1、2年生は学年の仕上げに頑張っています。今できることを一生懸命に取り組むことで、日々成長を遂げています。この春には、卒業生が関東の地にお世話になります。これまで同様に声をかけていただければ幸いに存じます。終わりに、関東あまたか会ますますの発展を祈念申し上げます。



韓国土坪高校訪問（2023年10月）

11月12日にアレグリアで行われた大同窓会も盛大で、出し物等、様々な工夫がこらされ、これは大変だった



総会参加の大学生

天草高校でのたった3年間の絆ですが、これからも関東あまたか会は、故郷の天草を大切に、出会いに感謝し、さらなる友好の輪を広げていきたいと思えます。

12月に開催された熊本県アンサンブルコンテスト・九州アンサンブルコンテスト熊本支部予選において、フルート四重奏で金賞を、管打八重奏で銀賞を受賞するなど、様々な部が活躍しています。

国際交流においても、韓国土坪高校との訪問交流を再開し、7月に土坪高校が天草高校を訪問し、10月には本校が土坪高校を訪問し、友好を深めました。この度、土坪高校が作成した天草高校との交流活動をまとめた動画が、外交優秀事例として韓国公共文化外交局から奨励賞を受賞しました。交流相手校としても喜ばしい限りです。さらに、台湾静宜大学とは馬場前校長が交渉を続けてこられた提携協定が正式に締結され、12月にSSH研修で静宜大学を訪問してきました。この協定により、大学の審査を経て入学が許可される本校生徒は5人まで、静宜大学での初年度の学費が免除されます。現在本校卒業生2人が、静宜大学と同じ台湾の逢甲大学に在籍しています。令和の世となり、大学進学も「県内か、県外か」という選択肢から、「県内か、県外か、それも海外か」と、進学の選択肢が一つ増えたと言えます。

いよいよ3学期を迎え、天高の雛鵬たちは、日々の学校生活で培った団結力や絆で、3年生は進路実現に向け、1、2年生は学年の仕上げに頑張っています。今できることを一生懸命に取り組むことで、日々成長を遂げています。この春には、卒業生が関東の地にお世話になります。これまで同様に声をかけていただければ幸いに存じます。終わりに、関東あまたか会ますますの発展を祈念申し上げます。

# 4年ぶりの総会

松野 明久（高27）

10月22日（日）、スクワール翹町において「創立40周年・第35回令和5年度関東あまたか会総会・友好の集い」を開催しました。出席者は83名。4年ぶりの対面での開催となったことで、受付の周りも高揚感にあふれ、会場一杯談笑する声が響き渡りました。

吉村いつみ事務局長（高25）司会の下、物故会員への黙祷から始まった総会では、次期会長に山中麗子さん（高21）を再選しました。次に、来賓祝辞をこの4月に天草高校校長に就任された中川正利先生から頂戴し、さらに来賓6名から挨拶をいただきました。会務・会計報告と役員一同の紹介が終わると、いよいよ



来賓祝辞：中川正利天草高校校長先生

天高在校生の活躍、特にグローバルリンクシンガポール世界大会について報告



山中麗子会長挨拶

会長に選出されて4年経つのに対面での総会挨拶は、初めて

よ友好の集いです。乾杯の音頭は第7代会長の山田清さん（高12）にお願いし、シンガーソングライター山崎Caityさん（高校2年生）によるギターの弾き語りを聴きながら食事と懇談を楽しみました。恒例の出席者全員による自己紹介は時間との競争となりましたが、司会の星野悦子副会長（高18）のおかしくも見事なさばきで無事終了しました。次は総踊り（牛深ハイヤ踊り）。役員たちは



参加者の中での最長老様

これまで、天中出身者の参加者がいましたが、今回は、天中卒の出席はなく、7回生の岩崎さんが最長老でした。ご夫婦で仲良くお手をつないでの参加



音楽のしらべ

シンガーソングライターのCaityさん（本渡中学出身、高校2年生）によるギター引き語り



乾杯

歴代会長、左から第8代平田会長、第7代山田会長



来賓席の皆さん

左手前から右回りに、旧水産高校、天工東日本支部、天草育英会、中京支部、名誉会長、天高校長、会長、同窓会の各会長・理事長及び、関西同窓会副会長



天草物産展

天草産物産は、皆さん懐かしいのか多くの方が買い求めていました。販売したのは、わかめ、あおさ、塩餡餅、からし連根等



卒業アルバムを見ながら

懐かしい卒業アルバムを皆で見ながら、高校生に戻っての想親

1週間前に集まって山下敏宏さん（高58）の指導を受けていました。本番でどれだけリードできたかは不明ですが、会場一杯に広がった大きな輪の踊りはコロナ禍を乗り越え無事再会した喜びをかみしめる機会となったに違いありません。そして、江頭真喜子さん（高28）のフルート伴奏による「ふるさと」と校歌斉唱でプログラムを終えました。開会挨拶は平石水利副会長、閉会挨拶は松野明久が務めました。物産品販売もたいへん好評で、販売コーナーは大忙しでした。他にも資料・記念品の配布、受付・案内、音響、

写真撮影など担当者はそれぞれの役割を果たしました。今回出席者の中で最高齢は、天草中学卒業生の出席がなく、岩崎良昭さん（高7）でした。ご夫人と一緒に出席され、ほんのりと顔を紅く染めながら終始笑顔で楽しんでお

られた様子が心に残りました。総会後いただいた感想には、久しぶりに交流できた、良い総会だった、美しい音色に癒やされた、初めて参加したがたくさんの人と話ができた、総会という輪の中で一体となったといったものがありました。



創立40周年 第35回 令和5年度 関東あまたか会総会・友好の集い 令和5年10月22日(日)(於:スクワール翹町)

# 出席者の感想は！

## 参加者最多の15回生

松尾 弘美（高15）

令和5年10月22日コロナ流行後初めて対面にての総会・友好の集いに参加しました。

次期会長の選出、来賓祝辞・紹介、会務・会計報告（決算期は12月末日のため、経過報告）の後、友好の集いへと。私共15回生は10名の参加、来賓として参加の本島昭男関西函南会副会長も15回生。

一つのテーブルで、同期の久かた振りの再会を喜び合い、残念ながら参加できなかった人と日頃交流のある人から現状を交換しながら話つきません。

ステージから美しい歌声や各卒回毎の紹介などへも耳を傾けながら、食べたり飲んだり話したり、最後のハイヤ踊り、校歌斉唱の後も時間が足りない二次会へと足を運び・・・同級生はいいなあ・・・と。

来年4月22日、天草サンタカミングホテルでの傘寿の同期生会への



参加者最多の15回生

本島昭男副会長が来賓として参加されたと聞いて、参加者が増えたそうです

参加・再会を約束し、とても楽しい総会・友好の集いでした。

## 久しぶりに参加して

清水 眞知子（高23）

この会は星野悦子副会長の天草弁による挨拶から始まり、タイムスリップして天草にいる気分がさせられます。頭が下がるのが現職のあまたか（天草高校）中川校長先生が業務多忙の中、ご臨席いただいたこと、さらに、あまたか同窓会函南会をはじめ関西や中京支部、東京天草育英会等多くの会の会長、理事長にご臨席いただけただけです。

現高校生が天草のホタルの研究において、海外遠征し優秀な成績を2回連続し修めたそうです。何も偏差値の高い大学を目指すだけが人生ではなく、SDGs的視点で個性と魅力ある学校に生徒は集中するのではないかと思います。

天草は観光地としては人気上昇中ではありますが、人口減少は続いているようです。私は天草の魅力は完全に自給自足が出来ることと併せ、自然に恵まれ、風光明媚かつ、グルメな食材が豊富なことと思います。松茸にしても魚にしても「関サバ、関アジ」のような美味しさの質が高いのです。そこで育つヒトも少し磨けば、ノーベル賞級の能力を發揮できるのではないのでしょうか。

天草は観光地としては人気上昇中ではありますが、人口減少は続いているようです。私は天草の魅力は完全に自給自足が出来ることと併せ、自然に恵まれ、風光明媚かつ、グルメな食材が豊富なことと思います。松茸にしても魚にしても「関サバ、関アジ」のような美味しさの質が高いのです。そこで育つヒトも少し磨けば、ノーベル賞級の能力を發揮できるのではないのでしょうか。



10年振り(?)に参加

久しぶりに参加したのに、同期生は一人もいず、14回生の席にお邪魔しています

## 初めて参加して

南雲 久美（高25）

照らし、さらに「魅力ある素敵な天草になるよう期待します。

関東あまたか会総会・友好の集いに初めて参加しました。これまで名ばかりの会員でしたが、同級生の滝口さんを誘って、どんな会なのか緊張して出かけました。今年母の七回忌を済ませたのをきっかけに、そろそろ実家の処分をしないといけないという話が出たのもあり、どこかで天草との縁を繋ぎたいと思ったのかと思います。

当日会場に着くと、元気な先輩の方も多く、驚くばかりでした。お誘いの案内に、誰でも主役のメッセージがありましたが、参加者全員が壇に上がり、一言話す演出には本当に温かさを感じました。現職の天高の校長先生の挨拶をはじめ、来賓の方の祝辞にもこの会の歴史を感じ、思い切って参加してよかったなと思いました。これからも元気に会に参加していきたいと思います。

当日会場に着くと、元気な先輩の方も多く、驚くばかりでした。お誘いの案内に、誰でも主役のメッセージがありましたが、参加者全員が壇に上がり、一言話す演出には本当に温かさを感じました。現職の天高の校長先生の挨拶をはじめ、来賓の方の祝辞にもこの会の歴史を感じ、思い切って参加してよかったなと思いました。これからも元気に会に参加していきたいと思います。



初めて参加

初めて参加しましたが、やはり天草、温かみを感じて、楽しむことができました

## 在学生として参加

寺岡 航（高72）

道中踊りをするのが出来ました。体の中にハイヤイズムがあるのですね（笑）。牛深ハイヤは陽気な音楽もそうですが、踊ると元気になれます。趣味としても抜群の踊りです。是非とも牛深ハイヤを踊っていただきたいです。

私のように、なかなか参加出来ずにいる方、是非来年の会にご参加ください。あんなに待つとるばいは、嘘ではないと実感出来ると思います。年齢を重ねると、今度やろうではないが、思いいたら先延ばしにしないのが、大切だと実感しています。役員、事務局、幹事の皆さん、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

## 牛深ハイヤ踊り

山下 敏宏（高58）

久しぶりの総会に出席し、諸先輩方のお元気をみる事ができ、大変嬉しく思います。総会では牛深ハイヤを指導させて頂きました。さすが天草の方々といったところでしょうか、短時間での指導で円を作って



牛深ハイヤ踊りの指導

牛深ハイヤ踊りの事前指導を、1週間前に全員の役員の前で、東京天草ハイヤの現会長が指導しました

今回の総会を通して、天草や学生のことを思い、活動している人がたくさんいるということを知りました。私も、将来、同窓生の方々の期待に応えられるような活躍をしたいです。

# 私の天高時代

旧校舎時代 ～30回生以前～



藤田 和治  
(定12)

## 母との約束

会報を見る度に、貧乏生活の高校時代を思い出します。天高1年間は昼間通学しましたが、2年を迎える時、父が商売に失敗して土地も家も借金の形に取られ、4畳一間に両親と姉4人で住みました。電気も止められ、水道もなく、近くの公園の水道水を利用する生活でした。月謝も払えず、2年目から食堂や八百屋で働き、牛乳配達をしてやっと定時制を卒業出来ました。それから東芝に入社しました。従業員7万人、私の職場は鶴見の京浜事業所で約3500人、原子力タービン、水車発電機の製造部門機械工作部に配属されました。入社して10年間は雑用係でしたが、腐らず頑張りました。30代後半には仕事が面白くなり、先ず国家試験の1級技師に合格し、業績がぐんぐん上がり、作業改善がひらめき、社長賞などを貰い仲間も驚いていました。40年間勤め定年を迎えました。母の言葉を胸に生きてきました。「いくら貧乏しても心まで貧乏にならないで、明るく挨拶をきちんとして、お世話になった人への感謝を忘れないで。」東芝と神様にも感謝しています。



三宅 盛夫  
(高24)

## 褒めてあげたいこと

昭和44年に天高に入学。もう半世紀以上過去の事です。古希を迎えた今、改めて振り返ると当時の出来事や同級生のことなど懐かしく思い出します。卓球部を3年間続けた事と、もう一つ、自分を褒めてあげたいことがあります。それは2年生時の修学旅行でのことです。その出来事は1970年の大阪万博でのことです。その時の修学旅行は特別の機会であり、万博見学が2日間組み込まれていました。ワクワクして会場に入ると天草では見られない人の多さに驚きました。そして外国人の多いことも。そこで出会った外国人と英語で話してみようと心に決めました。オーストラリア館でその機会が訪れ、話しかけたのは男性のオーストラリア人でした。入口から出口まで約30分間英語で会話し、最後にその男性がYour English is very goodと言って手を差し伸べてくれて握手しました。内心「やった」という達成感と満足感に包まれました。初めての生きた英語でした。残念ながら英語に関わる仕事には就きませんでした。今から振り返ると楽しい思い出です。



平田 俊清  
(高10)

## 陸上部に入部しなかった理由は

昭和30年、天草高校に入学しました。荻北の坂瀬川中学の出身ですが、就学前6歳までは本渡に住んでいたため、坂瀬川から本渡へ転校しても、幼馴染みも多く、沢山の友と楽しく過ごしました。同級生から「平田の出身小学校は南？北？」と言われるくらい、自然に、さもずっと一緒に遊んでいたかのごとく、接してくれました。坂瀬川小、中学の時代は、陸上競技に取り組み、高校でも陸上をやろうと思ったのですが、実際は体操部に入りました。坂瀬川で一緒に頑張った西川軍一君（東京オリンピック選手候補生）と同じ競技で競い合いたくなかったからです。2年生まで所属した体操部の他に、社会部として、天草の歴史を研究し各地を歩き回り取材をしました。この活動が「天草愛」につながったと思っています。勿論、体育祭や、マラソン大会も頑張りました。3年生は皆、受験勉強に真剣に取り組んでいました。何をするにも、皆真面目で、仲良く、一生懸命な高校時代でした。（事務局長が電話で聞き取りました）

## クラブ赤石

赤石 洋子 (本渡出身)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7  
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階

TEL : 03-3573-3994  
携帯 : 090-5325-9377

E-Mail: y\_akaisi@f2.dion.ne.jp

(銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先)

楽しむ結婚式を！  
ストと一緒に  
サンタスティック  
ウェディング

ゲストのお客様と一緒に楽しみ、おもてなしを第一に考えた結婚式です。是非ご相談ください。  
→プラン内容など詳しくはホームページをご覧ください。→

サンタスティックウェディングホテル

http://red-happiness.com

アマクサ サンタ カミング ホテル  
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3  
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

警備に関することは  
なんでも相談せんね!

(株)機動警備

代表取締役社長  
山下 純二  
(天高19回生 姫戸出身)

電話 : 048-728-5530  
FAX : 048-728-8085



**アマチュア無線**

この課題を頂いて、最初に私の頭に浮かんだのは、「高校時代、本当に勉強しなかったなあ」と言う事です。今でも印象深い先生の言葉は、高校3年生の最後の漢文の授業中、最後の最後に、教科書の音読を指名され、私が全く読めずにいると、「佐藤くん、君は、今まで何を勉強してきたのかね?」とご指摘を頂いた事です。とにかく、勉強しませんでした。クラブ活動は、アマチュア無線部 (JA6YJU) に所属しておりました。当時、アマチュア無線部は、工業高校にもありまして、在学中から、有志で、部活とは別にOB無線局を開局しており、天草の地から、北米、オーストラリア、遠くは、南米とも短波無線で交信しておりました。現在では、インターネット経由で様々なSNSを用いて海外と同様のコミュニケーションが日常的に、誰でも簡単に行えますが、当時の我々は、大変、特殊な人種だったのだと思います。現在、両校のアマチュア無線部は、どちらも活動していないようですが、幸い、昨年末にOB無線局の方は、天草の地で、当時と同じJH6ZAUのコールサインを取得して活動を再開しております。

**佐藤 誠**  
(高34)

た事です。とにかく、勉強しませんでした。クラブ活動は、アマチュア無線部 (JA6YJU) に所属しておりました。当時、アマチュア無線部は、工業高校にもありまして、在学中から、有志で、部活とは別にOB無線局を開局しており、天草の地から、北米、オーストラリア、遠くは、南米とも短波無線で交信しておりました。現在では、インターネット経由で様々なSNSを用いて海外と同様のコミュニケーションが日常的に、誰でも簡単に行えますが、当時の我々は、大変、特殊な人種だったのだと思います。現在、両校のアマチュア無線部は、どちらも活動していないようですが、幸い、昨年末にOB無線局の方は、天草の地で、当時と同じJH6ZAUのコールサインを取得して活動を再開しております。



**ソフトボールに明け暮れ**

私が天草高校で特に熱心に取り組んだことは、部活動です。男子ソフトボール部に3年間所属し、全国大会出場は果たせなかったものの、県大会準優勝や九州大会出場という結果を残しました。練習は、第2グラウンドで週5日~6日、週末の遠征を含めると週7日間ソフトボールをすることもありました。学校には毎日通っていましたが、日々の勉強と部活動の両立は簡単ではなく、授業中は睡魔に負け、ぼやけた文字や歪んだ先生をよく見かけました。しかし、このような中でも、大好きなソフトボールには毎日真剣に取り組み、大学でもソフトボールを続けました。高校で誰よりも練習したという自負があったので、大学のソフトボール部にも自信を持って入部し、レギュラーとして念願だった全国大会に出場することができました。ソフトボールを続ける中で、たくさんの経験をし、さまざまな人と繋がることができました。特に高校時代の厳しい練習の中で、選手としてだけでなく、人としても成長することができました。きついこともたくさんありましたが、高校3年間は私の人生の大きな財産です。

**寺岡 航**  
(高72)

私が天草高校で特に熱心に取り組んだことは、部活動です。男子ソフトボール部に3年間所属し、全国大会出場は果たせなかったものの、県大会準優勝や九州大会出場という結果を残しました。練習は、第2グラウンドで週5日~6日、週末の遠征を含めると週7日間ソフトボールをすることもありました。学校には毎日通っていましたが、日々の勉強と部活動の両立は簡単ではなく、授業中は睡魔に負け、ぼやけた文字や歪んだ先生をよく見かけました。しかし、このような中でも、大好きなソフトボールには毎日真剣に取り組み、大学でもソフトボールを続けました。高校で誰よりも練習したという自負があったので、大学のソフトボール部にも自信を持って入部し、レギュラーとして念願だった全国大会に出場することができました。ソフトボールを続ける中で、たくさんの経験をし、さまざまな人と繋がることができました。特に高校時代の厳しい練習の中で、選手としてだけでなく、人としても成長することができました。きついこともたくさんありましたが、高校3年間は私の人生の大きな財産です。



**33kmのパワー**

社会人になって10年を過ぎても高校の経験が活かしているなあと思うことがいくつかある。その一つが「天高のマラソン大会」だ。男子は33km、女子は22kmと他の高校では考えられないような距離のマラソン大会だ。当時はその距離こそ長いとは思っていたものの、それ以上に深くは考えていなかった。

**渡邊 健**  
(高58)

実は社会人になり、この33kmを走破したことが心の支えになっている。仕事で体力的・精神的にきつい時があっても「あの時足をつりながらも33kmを走り切ったな。まだやれるか!」と、きっと乗り越えられるという自信やパワーにつながっている。そういうパワーも人生では意外と大切だと最近になって気づかせてもらった。一つひとつの経験が人格をつくり、これからの未来になっていくのだから目の前のことを一生懸命やっていきなさいと思う。余談だが…一昨年、人生で33kmを越えるフルマラソンに初めてチャレンジした。18歳の頃と比べ体力が落ちているのと日頃の運動不足が重なり、30km以降は大変な思いをした。自信は大切だが、30歳を越えたら日々の健康づくりと事前準備はもっと大切だと感じた。

天草高校OBの皆様や天草出身者の皆様の御寄附により、毎年、奨学金を給付しています。今年度は奨学生や奨学生OBの皆さんと懇談会を開催し、意見交換することができました。ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が大きな手助けとなっています。ありがとうございます。

1,000円から  
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください

**一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田 峯生**

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

# 世界大会出場 科学部顧問 宮崎 一

この度のグローバル・リンク・シンガポール（以下GLS）2023への参加に關しまして、物心両面での暖かい応援をいただき、誠に有り難うございました。

今回の参加は3月に行われた「つぐばScienceEdge@O2C」にて創意指向賞を受賞したことによる参加となります。「つぐばScienceEdge@O2C」では、発表時間10分のところを13分も発表してしまい、正直なところ「受賞は絶対無理だ。」と思ったのですが、生徒たちが一生懸命考案した「ゲンジボタルが発光する環境の保護に着目した保護施設」の新規性を評価していただき、受賞となりました。発表後に意気消沈していた倉田さんと松崎さんが、表彰式後には満面の笑みを浮かべて戻ってきたことが、今でも思い



審査委員を目の前にしての研究発表



研究発表後の審査員との懇談（すべて英語です）

出されます。

その後は大変慌ただしく本番までノーストップでした。英語での発表となるため、私だけでは指導できず、英語科の小玉先生（天高OG）も加え、準備を進めました。他にも福田さん（ホタルの初代研究者）と、古田さん（前回世界大会出場者）の科学部OGからアドバイスを受け、大変助かりました。OGが後輩たちのために尽力してくれる様子を見て、天草高校の良さを再認識しました。この準備の段階から、小多さんが新メンバーとして加わりました。

迎えたGLSでは、まず初日に予選が行われました。日本とは異なる環境での発表で戸惑うことも多かったのですが、3人は発表を一杯やり遂げました。しかし残念ながら本戦出場とはなりませんでしたが、これは一重に私の指導不足が招いた結果です。初日の夜に

## Global Link Singapore 世界大会出場



ミーティングを行った際、倉田さんが悔しくて泣いていました。その際、「自分にもっと出来たことがあったのではないか。」と強く反省したことを忘れずにいたいと思います。2日目以降の生徒たちは気持ちを切り替え、他校の発表から一つでも多くの学びを得ようと海外の方々と交流していました。ここでの学びを、帰国後に多くの生徒に伝え、研究活動の発展に貢献しています。

GLSの参加を通じて、私も多くの学びを得ることが出来ました。この学びを天草高校全体に生かしたいと思えます。この度は誠に有り難うございました。

大会出場が決まってからは、英語発表でもあり準備が大変でした。しかし、小玉先生やウィリアム先生、サラ先生にご指導をいただき、本番ではいつもどおり発表できました。私はゆつくり発表する癖があります。本番では時間内に収めることができず、また分かりやすく伝えるために、ジェスチャーを入れたり、一番伝えたいところを強調したり工夫しました。

しかし賞をいただくことはできませんでした。とても悔しくて、上位のチームにあつて私達に足りないことは何か考えたところ、2つあることに気づきました。1つ目はスライドをシンブルにすること。スライド作成では、私達なりにシンブルにしたつもりでしたが、上位のチームはイラストだけで内容説明とか補足説明は省いていました。「シンブルにする」ということが海外発表で重要なことだと気づきました。2つ目は研究目的や背景をしっかり伝えるということ。「この研究で何を明らかにしたいのか」などを明確に伝えないと、研究意義が伝わらず、「この

また、この大会で様々な国の高校生と交流しました。交流の中で「日本のゲンジボタルの成虫は2週間しか生きないんだよ」と伝えると、とても驚いていて、海外のホタルについても情報をもらうことができ、充実した3日間になりました。このような貴重な経験を後輩に繋げ、今後研究を進展させてほしいです。そしてより多くの人にホタルの研究を知ってもらい、保護活動を全世界に広げてほしいと願っています。



# 今後の糧にする 倉田 玲美（3年生）

今回私達は初めて国際大会に参加し、様々な経験を積むことが出来ました。



待ちに待った研究発表

発表を聞きたい！」と思ってもらえませんが、そのため、発表冒頭が重要だと気づきました。GLSに参加したことは、私の一生の中でも大きな経験として残ると思います。私は今後大学に進学し、研究活動を続けていきたいです。今後は今回得た①シンブルなスライド作りと、②発表冒頭の重要性を意識し、進路実現や大学での研究にいかしたいと思えます。

つぐばScienceEdgeからグローバル・リンク・シンガポールまで皆様の応援があったので精一杯頑張ることができました。本当にありがとうございました。

# 発表を終えて

松崎 惺来(3年生)



シンガポールでの発表にあたり、様々な形で応援してください。本当にありがとうございます。

大会が終わって一息ついたときに、準備できたことがもつとあつた後悔しました。この後悔は、私の中に今後大きく残ると思えますが、次のような多くの学びと気づきを得ました。

まず、受賞者の発表を聞いて、2つ気づいたことがあります。スライドがシンプルで見やすかったこと。スクリーンに映る文字は少なく、使っている色も2、3色と少なかつたこと。私達もできるだけ見やすくなるよう作成しましたが、外国の人が聞き手であることをもっと意識するべきでした。私達はスライドの中に矢印を多く使用して説明していましたが、逆に見にくいことに気づきました。また、受賞者のスライドでは注目してほしい箇所を枠で囲むなど、視線誘導も上手でした。次に、質疑応答は、対応が丁寧でした。具体的かつ簡潔に回答していて、審査員の反応に応じて追加説明も行って

いました。私たちは事前に質疑応答の対策として、想定される質問を150個程度準備して本番に挑みました。しかし本番では、質問を正確に聞き取ることができず、適切な回答ができませんでした。受賞者の発表と比較して、どれだけ「伝える」ことが大切で難しいことかを知ることができました。



審査員を前にして研究発表、緊張の連続

発表以外の時間での学びとして、多くの海外の人と交流できたことで海外のホタルについて情報を得ました。このことで最終目標としているホタルの保護施設についての構想を充実させることができました。また、今後考えているDNA調査の方法も聞くことができました。

今年度は研究を引き継いでくれる後輩ができました。この大会で得たものをしっかりと伝えたいと思います。今回、多くの人の応援により実現した経験を忘れず、「コミュニケーションや「伝える」ことの大切さを常に意識して生活していきます。

今回のシンガポールでの発表では、受賞という結果は残せませんでした。他校の発表を見ることで多くの学びを得ることが出来ました。他校の発表を見て、目線を相手に向けることやジェスチャーをするなど聞き手を惹きつけるためのテクニックがいくつもあることを学びました。スライドもシンプルで、イラストやアニメーションを活用して聞き手が理解しやすいように工夫されていました。

# 大会での学び

小多 美幸(2年生)



受賞という結果は残せませんでしたが、他校の発表を見ることで多くの学びを得ることが出来ました。

私は発表しているときに相手に伝わっているかが不安でした。理由は聞きやすい声の高さや声量で話せているか自信がなかったからです。発表していると声が低くなり小さくなる癖があるのです。しかし海外の生徒の堂々とした発表を聞いてみると、そのようなことは気にせずに思い切り発表したほうが良いと感じました。世界の舞台では如何に伝えようとするかが重要だなと感じました。演台より前で審査員の方に視線を送り、手を上手に使いながら、伝えようとする気持ちが前面に出た発表をしていました。「伝える発表」を今後目指したいと思えました。

今回シンガポールで、今後に繋がるものをたくさん得ることができました。学んだこと、感じたことを漏らさず同級生や後輩に伝えて、今後のASや科学部での活動に活かしていきます。これからも研究活動を続け、再び海外で発表できるチャンスをつかみたいと思います。



研究発表 笑っているように見えますが、ドキドキでした



5万m<sup>2</sup>の広大なリゾート

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬996  
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

## めぐみ保育園

一緒に働きませんか?

問合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9



# 私のオランダ歴史紀行

松野 明久（高27）



**オランダへの旅**  
インドネシア  
研究を志した私  
にとってその旧

宗主国オランダは行くべき国だった。1986年から2年、ライデン大学に研究滞在した。

スマホもインターネットもない時代、国際電話も簡単ではなく、日本とのやりとりはほぼ手紙だけ。冬は4時には暗い。長く寂しい夜、一人音楽を聴いていると泣けてきた。

「なぜこんなところまで来てしまったのか。」まばゆい天草の夏を夢に見た。出島に暮らしたオランダ人の望郷の念も相当だったに違いない。

もちろん、オランダは面白い国である。小国ながら国際政治では調整役として名高く、福祉、労働、人権分野で進歩的な政策を打ち出し、安楽死・大麻・売春を認める社会実験を続ける。オランダから学ぶことは多い。

## 島原天草の乱

オランダと天草が交差するできごとと言えば島原天草の乱（1637〜38年）である。原城に立てこもった一揆軍を相手に苦戦していた幕府から頼まれ、オランダは有明海から艦砲射撃を行った。当時の平戸オランダ商館長クーケ

バツケルは艦砲射撃を「もともと気持ちいかなかった」などと述懐する。とは言うものの、そもそも軍事的協力を申し出たのはオランダ側であり、内紛に介入して植民地を拡大するやり方がオランダの常套手段だったことを考えれば、「気乗りしなかった」という述懐も差し引いて考えるべきだろう。

砲撃は15日間続いた。討伐を指揮した松平信綱は、外国人の手を借りるのかという批判を受け、砲撃中止を命じた。その後、作戦は兵糧攻めから総攻撃へと進む。

オランダ船の見張り一人が反乱軍から撃たれ、マストから甲板に落ちた。『四郎乱物語』（天草キリシタン館校訂版）には、「日本勢よせてもならずいぎりすを打落とされて何とおらんだ」の句がある。一揆勢の手柄を詠んだものだろう。

島原天草の乱は、ポルトガル人を追放してオランダ人を出島に移し、鎖国体制が確立した転換点にあたる。辺境の農民反乱というにはあまりに大きなできごとだった。

**プロテスタントとカトリック**  
キリスト教徒であるオランダ人がキリシタン弾圧に手を貸すとはどういふことか。1627年といえば、



デルフトの運河にて（2015年）

オランダはスペインを相手とした80年戦争のただ中。それは宗教戦争でもあり、勃興しつつあったプロテスタント商人たちの力を背景に、カトリック・スペインをはねのけ、

独立を勝ち取る戦いだった。オランダ商人たちは東インド会社を設立し、世界に冠たる貿易国を作り上げていた。そんなオランダではカトリックはむしろ迫害された。したがって、

日本からポルトガルが排除されることをオランダは歓迎した。ポルトガル人追放を知ったオランダ人たちはバタヴィアで祝宴を開いたという。その直後、今度はオランダ人が出島という監獄に入れられることになるのだが。

幕末ともなると、オランダはその地位を他の欧米列強に譲る。ただ、医学や河川の改修・治水・築港では並々ならぬ貢献を行った。木曾川の

工事で知られるデ・レーケは実に30年を日本の治水に捧げたのである。

**質素な食生活**  
19世紀デンマークの漁村を舞台とした映画「ババットの晩餐会」（1987年）は、プロテスタント的禁欲主義によって封印されていた

食べる快樂を村人が知るといふ話である。オランダのプロテスタント（カルヴァン派）も禁欲主義で知られる。

実際、オランダの食べ物はいんげんにしん、じゃがいもにキャベツと質実きわまりない。代表的な料理フッツポットはじゃがいも、人参、キャベツなどを柔らかく煮てマッシュしたもので、主菜として食される。

また、オランダを代表するパンケーキは塩辛いベーコンを入れて焼き、甘いシロップをかけて食べる。塩を樽詰めにしたニシンを街頭で口をあぐりあげて食べるというものもある。

江戸時代の終わり頃、キャベツを日本に伝えたのはオランダ人だった。ただばつとしなかったのか、あまり料理は伝わっていない。

**本当はおいしいオランダ**  
確かに、オランダの食べ物をはめる人は少ない。オランダ人も料理を自慢することはない。しかし本当はおいしい、と私は思う。

まずパンがおいしい。チーズは熟成の度合いに応じてグラデーションが楽しめる。その日に焼かれた全粒粉のパンに熟成が浅めのチーズをのせて食べれる幸福感は他では得られない。田舎のビストロで食べた豚ヒレ肉のグリル・ニンニクソースは驚きの味だった。魚はカレイやヒラメがいい。冬の素材ならんごケーキは何度食べても飽きない。

**オランダ人の価値観**  
王室はあるが、宮廷文化・貴族文化が発達しなかったオランダ社会の価値観は「満ち足りた日常」と「よき市民」にある。プロテスタントが称揚する勤勉さと適度な禁欲が、おだやかな倫理的な生活を生み出す。個を重んじ、ドイツ流の集団主義を嫌いつつも、アットホームな賑わいを好む。自由を何より愛し、それを他人にも認める。寛容はオランダ社会が掲げる価値である。安楽死やワークシェアリングなど社会実験への意欲は旺盛である。

九州ほどの広さに人口1700万。一人当たりGDPは11位で日本（32位）のはるか上、幸福度ランキングは5位で日本（47位）とは比べるべくもない。タイムズ大学ランキングでも100位以内に6つもの大学が入る。移民の統合といった課題はある。しかし、小国ながらこうした高いパフォーマンスはどうやって生まれるのか。もっとオランダは知られていい国だと思う。



オランダのパンケーキ



## 日本語を教える

中元 令士 (高9)

貧農で経済的に乏しかった我が家で、「短大だったら出してあげる」と言ってくれた次兄のお陰で、国土館短期大学国文科(平成15年5月閉学)に進学、卒業後しばらく働き、文学部日本文学科3年に編入することが出来た。2年間を終え、更に興味を持っていた英文科の3年生に編入し、夜間通学で他大学の英文科を卒業した。

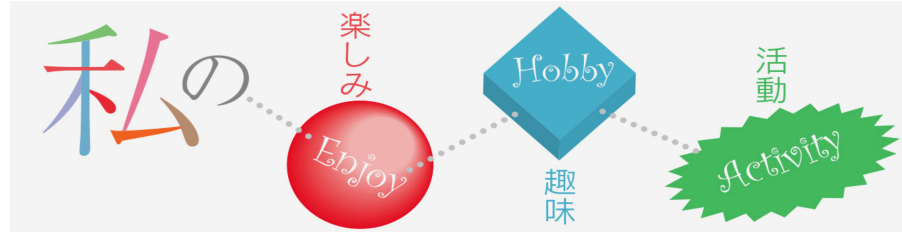
教員生活45年後、定年退職してから20年間は、外国人に対する日本語教育を行なつた。勿論、ボランティアである。年齢・性別・国籍は一切問わない会で、受講者は、企業の技術研修のために来日した社員などさまざま、日本語の程度もピンからキリだった。コロナ感染期はオンラインで行った。今も本国で日本語を勉強しており、頻りにメールをくれる方もいる。

平成18年11月、現役時代に非常勤講師として大変お世話になった堀田先生からお誘いのお電話を戴いた。韓国大邱のミッション系啓明大学で日本語を教えているので是非遊びに来いと言うことだった。1988年ソウルオリンピックで(故)斉藤仁氏の優勝応援に出掛けて以来2度目の韓国旅行になった。堀田先生の授業を参観、日本語のやり取りで私も参加させて戴いた。先生が「何か一言」と仰るので、このようなことになる



相模原市広報誌に掲載された写真。  
「漢字が難しいと話す」タイから来日した研修生に日本語を教える。

のではないかと思います、密かに準備していたのが、良く知られている「青春」(サムエル・ウルマン)の詩。これを教材にして共に勉強した。80歳にして外国の大学の教壇に立てたことは望外の喜びと感動をおぼえた。

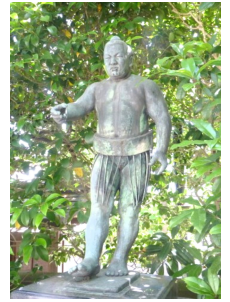


## 私の三つの楽しみ

北内 寿夫 (高14)

私の趣味(好きなこと)は三つあります。一つ目は、畑仕事です。佐伊津出身の私は、子どもの頃、近くの野山や川・池で遊びました。近所の友達と、夏は蝉、ヤンマトリ、鮒釣り、ヤマモモトリ、秋の雨の日はツガネ(モクスガニ)トリ、冬はメジロトリなど楽しい思い出です。家畜の牛の餌の草を刈るのは子供の仕事でした。草刈りの鎌使いは、今の畑仕事に役立っています。二つ目はスポーツ観戦です。中でも大相撲の大ファンです。牛深出身の栃光関が入幕した昭和30年～大関時代の昭和40年は、相撲が盛り上がった時期でした。昭和36年12月、本渡の諏訪神社で巡業が行われ、新横綱柏戸・大鵬の姿を間近で見た記憶も鮮明です。80才になる今でもファンとして観ています。プロ野球に関心を持ったのも子どもの頃で、人吉出身の川上哲治選手

が活躍し、当然のように巨人ファンとなり、応援を続けてきました。川上さんが選手時代以上に輝いているのは監督時代で、昭和36年巨人の監督になってからが実績絶大です。数々の感動を貰いました。三つめはゴルフと麻雀です。現役時代に仕事を忘れて楽しみました。しかし、あんなに夢になったゴルフは、一昨年3月やめてしまいました。ゴルフ道具セットを差し上げますのでご一報ください。最近は「80歳の壁」という、我々80歳の者にとってはタイムリーな本を2回以上読み返しました。自分の思い・考え方に沿っており嬉しいです。



諏訪神社の栃光銅像

## 映画に魅せられて

柿久 昌範 (高65)

私の今日までの人生は映画に彩られ、支えられ、導かれてきました。

幼い頃から実家の映画館・本渡第一映画でいろんな国や時代の映画に触れ、上京後は名画座や大小様々な劇場に通い詰める日々。そんな中で映画が持つ力や可能性を強く感じてきました。中でも特筆したいのは〈映画は時を越える〉という点です。例えば昭和の天草が描かれた3本の名作、『花咲く港』には80年前の西海岸の美しさと戦争による不穏な空気が、『藍より青く』には当時の牛深と河浦の街並みと人々の暮らしが、『サンダカン八番娼館 望郷』には天草から海を渡った“からゆきさん”の歴史と苦悩が刻まれています。歴史の教科書にも載らずに忘れ去られていく事象も、映画なら先の時代を生きる者も触れられる〈伝承〉の役割を果たしているのです。

私はこういった力に魅せられ、もっと深く映画に関わりたいと思い上京しまし

た。ただ、娯楽が多様化し、SNSなどにより簡略化されたものばかりが広まる現代では、映画界の状況は下降の一途を辿っています。特に私が愛してやまず、歴史的な価値も秘めた昭和の名作たちは、若い世代だと一生のうち一度も触れない人がほとんどでしょう。その現状が悔しくてなりません。

私は今はしががない映画ファンであり一劇場スタッフでしかありませんが、もっと力をつけて映画を盛り上げ守ってほしいなりたいと思っています。



「のさりの島」の俳優・野呂圭介さんと一緒に。  
天草本渡第一映画にて(左から父、野呂さん、私)



## 生徒会の活動

生徒会長 原田 美空（2年生）



本校には現在585名の生徒が在籍し、日々学習や部活動、学校行事に励んでいます。ここ数年、学校行事は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模が縮小されたり、時間が短縮されたりしていました。しかし、今年度は規制緩和により、これまでに比べて大幅にできることが増えたように感じます。

5月に開催した体育大会は、半日開催で行いました。競技数を絞ったことで、毎年参加希望者が少ない個人競技をなくし、団体競技をメインにしました。そうすることで熱中症の予防に努めながらも参加者も観覧者も盛り上がり、楽しむことができました。

9月に開催した文化祭は、昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で1日開催となり、一般の方には来場していただかず、食品バザーもありませんでしたが、今年度は2日間開催し、一般の方にも来場いただき、食品バザーも行うことができました。毎年多くの時間を費やして準備する文化祭ですが、一番大変だったのは生徒会、生徒、先生方と以前の文化祭の経験があまりなく、見通しを持つのが難しかったことです。1日開催の時と同じ準備期間で2倍の準備を終わらせなければならないのは本当に大変でした。しかし当日は、展示観覧・食品バザーは多くの生徒や一般の方々で賑わい、ステージ発表、有志企画も盛り上がりました。

また、行事だけでなく部活動も健闘しています。科学部は、つくばScienceEdge2023中高生国際科学アイデアコンテストに出場して創意指向賞（全国2位）を受賞し、7月にシンガポールで開催されたグローバル・リンク・シンガポール2023に出場しました。男子ソフトボール部は、全国高等学校選抜大会熊本予選会で優勝し、3月に山口県で開催される第42回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に出場します。その他の部活動も、それぞれの目標に向けて日々一生懸命練習に励んでいます。

私は生徒会長として、在校生の意見を尊重しながらも、卒業生の方々が残してくださった伝統を大切に、よりよい天草高校にしていきたいと思っています。これからの天草高校の活躍と発展を、ぜひ楽しみにしてください。



体育大会（2023.5.9）

天草高校便り

## 天草便り

### 「天草市立御所浦恐竜の島博物館」 令和6年3月20日リニューアルオープン

西田 勝年（高12）

「天草市立御所浦恐竜の島博物館」は、展示の規模が拡大され、離島御所浦町で発見された国内最大級の肉食恐竜の歯の化石や九州最古の翼竜化石などを含め約2000点が展示されます。さらに、現在、天草に生息している生き物についてのコーナー等を設け、天草の自然史を学べる魅力ある博物館となります。

最大の魅力は、博物館の近くでは気軽に化石採集の体験ができることです。化石の発見率も非常に高く、これまでも貴重な化石が数多く発見されました。その化石は寄贈標本として展示されることもあります。

新たな博物館は、約1億年前の中生代白亜紀の地層から天草地域初の恐竜化石が発見されたのを機に、1997年に

開館した「天草市立御所浦白亜紀資料館」の施設の老朽化、収蔵品の増加のため建て替えられました。

御所浦町は、八代海に浮かぶ18の島々からなる離島です。恐竜の島、化石の島として知られ、日本の地質百選に選定されています。島まるごとが博物館に見立てられ、野外見学地などが各所に設けられ見どころいっぱいです。御所浦町でできるだけ多くの体験をと、スマホで利用できる「島内回遊促進アプリ」も開発されています。

同窓生の皆さん、郷里天草に帰られた折は、是非、御所浦町に行かれ、新しい魅力ある「御所浦恐竜の島博物館」をご覧頂き、恐竜・化石の島の体験をされたら如何でしょうか。



恐竜の島博物館イメージバス



常設展示室（1階）



常設展示室（1階大型骨格標本）

ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和5年度年会費を納入された会員の皆様(12月31日現在)

Table listing members who paid the 2023 annual fee. Columns include member name, age, and family name. Rows list 100 members.

令和5年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

Table listing members who also donated. Columns include member name, age, and family name. Rows list 20 members.

前年度までに令和6年度年会費を納入された会員の皆様

Table listing members who paid the 2024 annual fee in advance. Columns include member name, age, and family name. Rows list 2 members.

お名前の記載漏れや間違いがありましたら、事務局までお知らせください

令和5年度会計報告

令和5年1月1日～令和5年12月31日

Accounting report for 2023. Table with columns for revenue (収入) and expenses (支出), including items like membership fees, postage, and printing costs.

令和6年度予算報告

令和6年1月1日～令和6年12月31日

Budget report for 2024. Table with columns for revenue (収入) and expenses (支出), including items like membership fees, postage, and printing costs.

# 事務局からのお知らせとお願い

## 会報第47号の寄稿文のお願い

会報47号では、下記の寄稿文を募集しております。皆様、是非振るってご寄稿ください。

- ① 私の天高時代：文字数460字 顔写真  
天高在学中の思い出は、言い尽くせないほどあると思います。そのうちの1つでも2つでも結構ですので、お聞かせください。
- ② 私の楽しみ、ボランティア、趣味：文字数650字 題名に関する写真1枚
- ③ 日頃思っていること、旅行記、随筆など文字数600字 顔写真、題名に関する写真1枚

寄稿文の送付先は、下記の事務局吉村いつみ宛にお願い致します。

〒353-0004 埼玉県志木市本町5-17-5-606  
E-mail:kimicchan135@gmail.com  
Tel & fax:048-476-5853 携帯：090-8000-1722

## 令和6年度年会費等の払い込みのお願い

令和5年度会計決算は11頁に記載のとおりです。令和6年度年会費（2000円）及び寄附金納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用ください。振込手数料は会で負担しますので、会員の皆様は無料です。払込取扱票には、必ず住所・氏名を記載してください。

### 振替口座は下記のとおりです

- 1 ゆうちょ銀行から振り込む場合
  - ・口座記号番号：00180-6-487424
  - ・口座名義：関東あまたか会
- 2. 他の銀行から振り込む場合
  - ・銀行名：ゆうちょ銀行
  - ・口座名義：関東あまたか会
  - ・店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
  - ・預金種目：当座
  - ・口座番号：0487424

## 令和6年度総会・友好の集いのご案内

昨年は、4年ぶりに対面での「総会・友好の集い」ができ、皆さん久し振りの再会を喜んでおられました。今年は、下記のとおり開催致しますので是非ご予約に入れて下さい。

- 1 日時：令和6年10月26日（土）12:00～15:00、
- 2 場所：スクワール麹町（☎03-3234-8739）  
JR四ツ谷駅前

詳細は、会報47号にてお知らせいたします。

## 皆様からお預かりしている年会費について

お陰様で、関東あまたか会は堅実かつ順調に運営されています。

皆様からの年会費は毎年50万円～60万円、寄附金も毎年20万円～30万円も頂戴いたしております。改めて深く感謝申し上げます。

主な使いみちですが、会報の発行費用（通信費、印刷費）に約60万円、総会・懇親会費（会場使用料など）に約25万円、その他会議費、交通費、交際費、消耗品費などで約38万円です。11頁の会計報告をご覧ください。

令和2年から令和4年までのコロナ禍の3年間は、対面での総会及び役員会など事業が実施できませんでしたので、約90万円を繰越金として計上しております。

令和5年度の収支は、約9万円のマイナスとなっています。その原因は、天草高校科学部のグローバル・リンク・シンガポール世界大会への支援金支出です。

今後とも節約に努めながら健全に運営して参りますので、ご理解の上ご協力をお願いいたします。なお、ご意見等は下記のホームページからご連絡ください。

URL: <https://kantouamataka.com>

当会のQRコードは、右のとおりです。



関東あまたか会会長 山中麗子

**計報のお知らせ**  
この1年間に逝去された方をお知らせいたします。  
(前号未記載)

- 高女 多田 悦子 様 (令和5年1月)
- 倉岳 原田 達男 様 (令和5年6月)
- 高11 永濱 巖 様 (令和5年6月)
- 高11 田中 末武 様 (令和5年8月)
- 高12 鮑田 賢一 様 (令和5年10月)
- 高14 大塚 叶人 様 (令和5年2月)
- 高16 坂本 晃 様 (令和5年9月)
- 高18 永野 正臣 様 (令和5年7月)
- 高18 猪俣 均 様 (令和5年8月)

謹んで哀悼の意を捧げます。

## 編集後記

吉村いつみ(高25)

昨年は4年ぶりに、「総会・友好の集い」で皆様にお会いすることができました。一昨年末ではオンラインでお目にかかるだけでしたが、笑顔を見、声や音楽を聴き、握手し、一緒に(ハイヤ節を)踊り、いい香りと空気の中で天草を感じることができました。

さて、今年は元旦から大地震のニュースに、2日は航空機事故と、この1年一体どうなるのかと暗澹たる思いでいっぱいでした。自然災害や事故は防ぎようがない事もありますが、自分でできる範囲で事故回避策を考えていかななくてはと思っています。そして皆様には、気持ちのエネルギーになる楽しいお話や、心の持ちようも教えていただきたいと思います。この会報で共有できることがあれば幸いです。